

人工股関節全置換術をうけられる患者さんへ

患者さん氏名 _____

病名・症状 _____

推定される入院期間 約 _____ (日・週・月間)

入院目的 _____

手術内容 _____

特別な栄養管理の必要性 有・無

	入院日～術前日 (/ ~ /)	術当日 (/)	術後1日目	術後2日目
内服	持参された薬を確認します。(薬剤師、看護師) 術前日に下剤を内服します。 		朝から痛み止めを飲みます 	
点滴		抗生剤を点滴(夕)	血栓症予防のための内服薬があります(1週間) 抗菌剤点滴(術後から3回あります)	
ドレーン		手術部位に“くだ”(ドレーン)が入ります		
リハビリ	リハビリ診察、術前評価 総合実施計画書の発行 術後運動指導	介助にて体位変換 禁 手術した肢が下になるような姿勢は禁止です。	ベッドサイドでのリハビリ開始 起き上がり動作訓練・足関節・足趾運動・セッティング運動 ベッドのギャッジアップ90° 横向きの時は足の間に枕を挟みます	端座位とはベッドに座って足を下ろす姿勢を言います。 痛みに合わせて行います。 端座位訓練 車椅子移乗訓練
処置	ネームバンド装着 体温・脈拍・血圧測定(必要に応じて) 	弾性ストッキング着用 	創部消毒・ガーゼ交換(必要に応じて)	
検査			血液検査 	
食事	常食(必要時治療食) 	術前絶飲食 術後常食(必要時治療食) 完全に麻酔から醒めていること、腸が動いていることが条件です。看護師が確認します。		
排泄		術前に排便がなければ浣腸します Ope室にて膀胱留置カテーテル挿入 術後ベッド上排泄 	トイレに行けたら抜きます 車椅子でトイレに行けます	
清潔	患肢の清潔 		体を拭きます 	
安静度	フリー	ベッド上 	手術部位の“くだ(ドレーン)”がとれたら車椅子に乗れます(看護師と一緒にいきます)	洗面や歯磨き、体を拭くことなど看護師がお手伝いします。
説明・指導	入院時オリエンテーション 術前オリエンテーション 手術説明(同意書の確認) 麻酔科医の術前訪問 手術室看護師の術前訪問 			

注1) 診療内容等は現時点で考えられるもので、今後検査を進めていくに従って変更する場合があります。その場合は再度説明いたします。

注2) 入院期間については、現時点で予想されるものです。

主治医署名	説明看護師署名	主治医以外の担当者署名
-------	---------	-------------



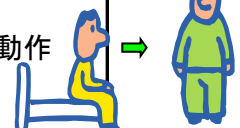
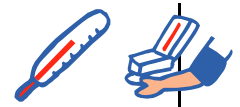








上記の通り、診療計画について十分な説明を受けましたので同意します。 年 月 日

患者本人署名	親族又は代理人署名	患者との続柄()
--------	-----------	-----------

患者氏名 _____

	術後3日目	術後4日目	術後5日目	術後6日目	術後7日目	術後8日目	術後9日目	術後10日目	
リハビリ	リハビリ室での訓練開始 平行棒内歩行 歩行器歩行 杖歩行 独歩 階段昇降 床からの立ち上がり (痛みに合わせて可能な範囲で荷重します)				日常生活動作訓練開始 更衣動作 入浴動作 家事動作 (リハビリの状態に応じて変更もあり)				
処置	消毒・ガーゼ交換(必要に応じて) 体温・脈拍・血圧測定(必要に応じて)								
検査					 採血				
			下肢エコー(血栓がないかを確認します)						
食事	常食(必要時治療食) 								
排泄	トイレ可 								
清潔	体を拭きます 洗髪、足浴をします		介助でシャワー浴						
安静度			それぞれ、リハビリより許可が出れば、病棟での歩行器や杖などでの歩行練習が可能となります						

※リハビリの進行状況や検査の日付は、状況により変更となる場合があります。

	術後11日目	術後12日目	術後13日目	術後14日目	術後15日目	術後16日目	術後17日目	術後18日目	術後19日目	術後20日目	術後21日目	
リハビリ	リハビリ室での訓練 日常動作訓練 			階段昇降 		床からの起立動作 						
処置	体温・脈拍・血圧測定 											
検査						レントゲン			採血			
食事	常食(必要時治療食) 											
排泄	トイレ可 			看護師が お手伝いします。								
清潔	介助にてシャワー浴または入浴 											
安静度				それぞれ、リハビリより許可が出れば、病棟での歩行器や杖などでの歩行練習が可能となります								
説明・指導	理学療法士が、脱臼予防と 家でのリハビリプログラムについて説明します。 						心配なことがあれば 相談してください。 退院後の内服薬と 検査の予定などを説明します。					